

2016年9月13日
株式会社クラレ

タイ・PTT グローバルケミカル社、住友商事株式会社との
ブタジエン誘導品事業の詳細検討開始について

株式会社クラレ(本社:東京都千代田区、社長:伊藤正明)は、PTT Global Chemical Public Company Ltd. (以下「PTTGC」という)、住友商事株式会社(本社:東京都中央区、取締役社長:中村邦晴、以下「住友商事」という)と共同で、タイにおけるブタジエン誘導品の製造販売事業に関する詳細検討を進めるための合意書(以下「本合意書」という)を本日締結しました。

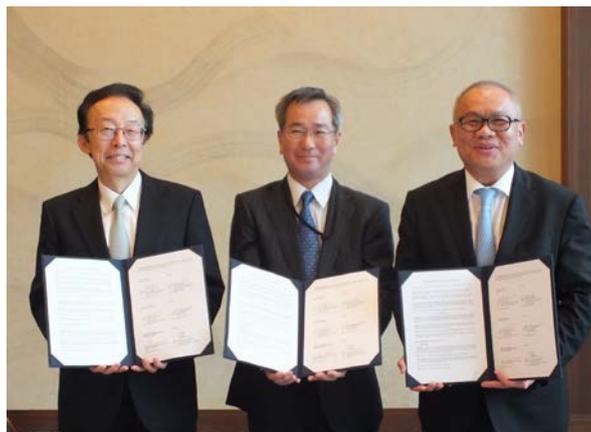
3社は、2015年9月に覚書を締結し、タイでのブタジエン誘導品事業の協業可能性を検討してきましたが、この度、本合意書を締結して生産設備の基本設計を含む詳細検討を開始します。3社による当該合併事業に係る最終投資判断は2017年後半を予定しています。当該合併事業は最終投資判断に加え、出資比率等の詳細についても検討段階です。

当該製造拠点はタイのラヨン県マプタプット、石油化学コンプレックス内のヘマラ イースタン工業団地を候補地として、2020年に高耐熱性ポリアミド樹脂 PA9T(生産能力13千トン/年)、水素添加スチレン系熱可塑性エラストマーHSBC(生産能力16千トン/年)の設備稼働開始を目標に詳細事業化調査(フィージビリティ・スタディ、以下「F/S」という)を進めていきます。主な原料となるブタジエンは、同工業団地内のPTTGCから供給を受ける予定です。

また、当該ブタジエン誘導品の製造拠点と同じ敷地内に、当社単独によるイソブチレン誘導品MPD(3-メチル-1,5-ペンタンジオール)(生産能力5千トン/年)の生産設備建設の検討も行い、2017年後半に最終投資判断を予定しています。2020年の設備稼働開始を目標にF/Sを進めていきます。主な原料となるイソブチレンは、同工業団地内のPTTGCから供給を受ける予定です。

PTTグループから競争力のある原料、及びユーティリティの供給と、住友商事のマーケティングチャネルを融合し、当社が有する当該製品の製造技術、販売マーケティングノウハウを組み合わせ、ブタジエン、イソブチレン誘導品事業のグローバルでの拡大に向けて検討を進めてまいります。

以上



本で行われた調印式(左から住友商事 藤田昌宏 代表取締役専務執行役員、クラレ代表取締役社長 伊藤正明、PTTGC スパッタナポン President & CEO)

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

(株)クラレ IR・広報部

川西・齊藤

TEL 03-6701-1073

【ご参考】

PTTGC 会社概要

会社名	PTT Global Chemical Public Company Ltd.
設立日	2011年10月19日
本店所在地	タイ・バンコク市
代表者	Supattanapong Punmeechaow
主要株主	PTT Public Company Limited(48.89%)
売上高	400,128 百万タイバーツ(2015年12月期)
従業員数	6,120名
主要拠点	タイ・ラヨン県マプタプット、石油化学コンプレックス (石油化学製品生産能力 8.75 百万トン/年)
事業内容	石油化学製品の製造販売